



P R E S S R E L E A S E

* 本リリースは 2015 年 2 月 9 日 (現地時間) に、英国および各国で同時に発表したプレスリリースを翻訳したものです。

2015 年 2 月 9 日

CSR、家庭内での各種制御や接続をシンプルかつシームレスに実現する CSRmesh™ Home Automation を発表

～CSR の画期的な Bluetooth® Smart 向けメッシュ・プロトコルが、
照明コントロールから IoT アプリケーション全般へと拡張最適化～

[CSR plc](#) (ロンドン証券取引所 略号: CSR、NASDAQ 略号: CSRE、以下「CSR」) は本日、同社の革新技术である Bluetooth® Smart ソリューション [CSRmesh™](#) のアップデートを発表しました。CSRmesh Home Automation は、暖房、換気、エアコン、ドア施錠、窓のセンサーなど多彩な用途に最適です。CSRmesh は、ほぼ無数の [Bluetooth Smart](#) 対応センサーおよびアクチュエーターを簡単にネットワーク化できるので、スマートフォン、タブレット、PC、[ウェアラブル・デバイス](#) 等からホーム・オートメーション全体を制御できるようになります。

昨年発表された最初の [CSRmesh](#) プロトコルは、照明制御に最適化されていました。CSRmesh Home Automation ではこの機能を拡張し、ユーザーがメッシュ・ネットワークに追加したいと考える多様なセンサーまたはアクチュエーターの制御を実現します。CSR のビジネス・グループ担当シニアバイスプレジデント、アンソニー・マレー (Anthony Murray) は、次のように述べています。「メッシュ・プロトコルの発表は、Internet of Things の分野にすでに画期的な可能性の広がりをもたらしています。制御の為の伝送範囲が限定されず、ハブをも必要としないため、当社のお客様は、設定が容易で使いやすいスマートな各種照明機器をすでに市場に投入しています。開発者は、この最新バージョンを活用することで、スマート・ホームに期待するエンドユーザーの要望を満たす、便利で、安全性、拡張性にも優れたさまざまなホーム・オートメーション機器の開発を加速できるようになります」

CSRmesh は、その構成および制御プロトコルを、[CSR101x™](#) ファミリーをはじめとする CSR の定評ある [各種 Bluetooth Smart デバイス](#) と組み合わせています。このプロトコルでは、Bluetooth Smart によってネットワーク内の他の機器に送信されたメッセージが、さらに他のデバイスへと順次リレーされます。このプロトコルを搭載した機器は、複雑な設定やペアリング、さらにはルーターなどのアクセス機器さえ必要としません。このことは、エンドユーザーの日常的な使用を想定した場合に極めて重要な要素になります。また、Bluetooth Smart 対応のあらゆるスマートフォン、タブレット、PC、ウェアラブル・デバイスから制御できるだけでなく、Bluetooth Smart に対応した照明スイッチやコントロール・パネルなど通常のリモコン機器で制御することもできます。

CSR が委託した[最近の調査](#)によれば、人々の「スマート・ホーム」関連機器やサービスへの関心はますます高まっています。たとえば回答者の 72%が、利用する部屋に応じて自動的に点灯/消灯する照明を求めています。CSRmesh を使用するメーカーは、たとえば、ドアや窓が未施錠のとき、家電が通電されたままのとき、または煙検知器がオフになったとき等に自動的に通知が送信されるものなど、多様なホーム・コントロールを一括管理したり、特定の作動をユーザー側で管理できるような各種クラウド接続型ソリューションを開発することができます。さらに CSRmesh Home Automation では、チップからクラウドを介してインフラ全体を制御できるので、世界中のどこにいても、家庭内をリモートで制御し監視することができます。

Bluetooth Smart メッシュの国際標準をできるだけ早急に策定するため、CSR は [Bluetooth SIG](#) (Special Interest Group) の Smart Mesh Study Group で協働しています。これについて、マレーは次のように述べています。「CSR は、Internet of Things の開発を支援していくことを使命としており、あらゆる互換デバイスの相互運用性を確保し、市場の成長を阻害する断片化を回避できるよう、Bluetooth SIG の中で Bluetooth Smart メッシュの標準化にあたっています」

CSRmesh Home Automation は、2015 年第 2 四半期初頭にリリースされる予定です。また、開発者が製品を迅速に市場に投入できるように、今後リリースされる Home Automation に対応済みの [CSRmesh 開発キット](#)がすでに用意されています。これは、評価およびソフトウェア開発のための包括的なツールセットで、Android と iOS のソースコードも同梱されています。

###

*本プレスリリースは 2015 年 2 月 9 日 (現地時間) に、英国及び世界各国で同時に発表されたプレスリリースを翻訳したものです。原文は <http://www.csr.com/news/pr/2015/csrmesh-home-automation-brings-seamless-control-and-home-connectivity> をご参照下さい

関連リソース (動画:英語)

- Android Wear を使った CSRmesh コントロール: <http://bit.ly/1BKCzvS>
- CSR の CES2015 におけるラスベガスでのライトアップデモ (IoT)
「DJ が CSRmesh で 1000 人のライトスティックをコントロール」: <http://bit.ly/1BEJUR8>
- CSRmesh 開発キットのデモ: <http://bit.ly/1oTOTsn>
- CSRmesh の概要: <http://bit.ly/111tSt7>
- 最新グローバル意識調査「消費者の目から見たホームオーディオ」
State of Play research report: <http://bit.ly/1qZb6WJ>
⇒本調査結果資料の日本語版(pdf)をご希望の方は、ご遠慮なくお知らせください
昨年 12 月下旬発表のプレスリリース(日本語)はこちらをご参照ください
<http://www.csr.com/news/pr/2014/japanese-state-play-research-report>

CSRについて:

CSRは、お客様が世界中のエレクトロニクス市場で成功をおさめるための様々な課題を解決し、変革の核となる技術を提供するため、妥協のない技術革新を進めています(push every boundary™)。ボイス&ミュージック、ドキュメント・イメージング、車載インフォテインメント、Bluetooth®Smart、屋内測位システム等の分野を中心に高性能な半導体、ソフトウェア、サービスの開発と、半導体チップへの集積を進めることで、人々のライフスタイルをより快適なものにし、途切れのないスムーズな接続とInternet of Thingsのもたらす真の恩恵を皆様にお届けします。詳細については、<http://www.csr.com/japan/> をご覧ください。また、最新の情報は、[テクニカル・ブログ](#)、[担当者ブログ](#)、[YouTube](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#)でも発信しています。CSRの無線オーディオ・コーデックであるaptX®の詳細については、<http://www.aptx.com/ja> をご覧ください。

将来予想に関する記述

本プレスリリースには、CSRのBluetooth® Smartプラットフォーム並びにそれらが各種電機製品等(CSRmeshプロトコルを搭載した各種Bluetooth® Smart製品を含む)に搭載された場合に発揮される性能、ならびにその他の将来発生しうる事象、またはそれらがCSRに及ぼす潜在的影響について、過去の事実以外の情報であって、かつ米国の1995年民事証券訴訟改革法(United States Private Securities Litigation Reform Act of 1995)において「将来予想に関する記述(forward looking statements)」との解釈が成り立ちうる声明(将来の事業または業績に関する経営陣の計画及び目標に関する所信表明、またはそれらに関する仮定を含む)を含んでいます。これらの予想に関する記述は、上記につき各々「予定である」、「提供できる」、「提供する」、「可能にする」、「強化する」、「実現する」、「設計されている」、あるいはそれらに類似した表現で特定できます。CSRのBluetooth® Smartプラットフォーム並びにこれらの技術を搭載した電機製品、周辺機器の性能、機能、または特徴の変更・向上等に際して将来発せられる一連の発表は、そのいずれもがCSRおよびその顧客の継続的評価の対象に服すものであり、実現されるか否かは不確実であり、かつCSRまたはその顧客の確約と見なすことはできず、証券購入の判断に利用するべきではありません。かかる予想に関する記述は、CSRの経営陣の現時点での予想と見解を示すもので、CSRの事業戦略とCSRが事業を行う環境に関与する多数の仮定の上に成り立っているため、未知または既知のリスク、偶発性、不確実性、およびその他要因が複雑に関連し、その多くはCSRによる管理の及ぶ範囲を超える事項に属します。これらの要因の一部は、SECのWebサイト(<http://www.sec.gov>)で公開されているCSRの定期レポート(「Risk Factors(リスク要因)」または「Forward Looking Statements(将来予想に関する記述)」という見出しの下、またはその他の箇所)で詳述されていますが、それらに限定されません。予想に関する各記述は、その日付の時点での記述です。法に定めのある場合を除き、CSRは、ここに記載されている予想に関する記述について更新または改訂があった場合でも、公式にリリースする責任を負いません。

*Bluetooth®およびBluetoothロゴは、Bluetooth SIGが所有する商標であり、CSRにライセンスされています。

*Wi-Fi®, Wi-Fi Alliance®, WMM®, Wi-Fi Protected Access®, WPA®, WPA2®, Wi-Fi Protected Setup™ 及び Wi-Fi Multimedia™ はWi-Fi Allianceの登録商標です。

*本文書に記載されているその他の製品、サービス、名称は、該当するそれぞれの所有者の商標である場合があります。

<報道関係お問い合わせ先>

広報代行 株式会社プラップジャパン 谷本

電話:03-4570-3191 E-mail: csr_pr@ml.prap.co.jp

<お客様、ユーザー様お問い合わせ先>

シーエスアール株式会社

深田 学

電話:03-6403-7100 Email: prjp@csr.com
